



ふわあい



「さくらの保育園作品展」に
たくさんのお来場ありがとうございました。




2月11日(土)から13日(月)まで、さくらの保育園ホールにおいて「さくらの保育園作品展」が開催されました。0歳児から5歳児のそれぞれの年齢の発達に応じた作品は、子どもの成長にふれることができるものとなりました。

0歳児は、主に写真などを通して園での子ども達の様子や成長の様子を色紙にまとめたアルバムを作成。1歳児と2歳児は手や指先を使った作品に取り組みました。初めての絵具の感触に驚いたり、紙粘土を一生懸命に丸めながら自分のイメージを膨らませ、楽しみながらの作品づくりとなりました。

3歳児以上は、各クラスの作品づくりをしながら、共同作品もつくり上げました。作品のテーマは「遊べる作品」。各クラスごとに積極的に意見を出し合い、年長児が中心となり進めてきました。見て、触れて、試着できるコーナーもあり、アイディアたくさん遊びの空間ができました。

今年は、玄関に花ショップポピーの齋藤さんにフラワーアレンジメントを教わり、生けた作品が華やかに地域の皆さんをお迎えすることができました。準備をしている時は、色んな種類の花があり、どれを使おうか悩んでいましたが、思いおもいに生きたい花を手にしてアレンジに初挑戦していました。期間中、会場の玄関は、一足早い春を迎えることができました。

また会場内に手作りクッキーやお茶を準備したサロンを設け、訪れた親子連れや、地域の方のひと休みスペースとして、利用していただきました。

 この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

各事業紹介

福祉座談会の開催

地域のサロン活動を考える

10月24日(月)、東根地区杉沢中央公民館において杉沢すこやか教室で活躍の地区の役員とボランティアの皆さん、2月19日(日)、東根地区町下公民館で町下なかよし会に参加の皆さんを対象に福祉座談会を開催しました。

杉沢すこやか教室では、女性会員を中心に15名が集まりました。まず社会福祉協議会の事業内容を説明し、さまざまなお質問をいただくとともに、事業へのご理解をしていただくことができました。



話が進む中で、10月21日に開催されたボランティア研修会の話題となり、その中で、「毎回手づくりは杉沢もだけど、他は弁当が多かった」「ボランティアは、健康づくり推進員だけでなく、地域からボランティアを募って運営しているところが多かった」など、研修に参加しての報告会にもなりました。

続いて、2月町下なかよし会に訪問すると、この日は男性限定のサロン開催日でした。11名の参加者と町内長の初参加でした。



サロンの代表者から町下のボランティア組織の説明をうけ、班編成でサロンに協力をしているとのことでした。

参加された皆さんに、サロンに参加しての感想を伺うと、「男は地域にお茶のみに行くことはないから、このような会に参加して、皆とお茶のみができる」「おいしい料理が食べられる」「もつと男性の参加が増える」といいな」などの声を聞かせていただきました。

座談会の後は、初参加の町内長さんと一緒に輪投げを楽しみ交流を図りました。

社会福祉協議会では、地域の問題について、地域住民の皆さんと一緒に考え、地域づくりを進めています。これからも、福祉座談会を通じて、皆さんの声を聞き、地域の福祉課題などをすくい上げていきたいと考えています。



職員研修の開催と総合防災訓練へ参加

社会福祉協議会は、平成25年に子育て拠点施設が開設となり、職員数が約三倍の60名になりました。地域に福祉サービスの提供していく上で、職員お互いが顔の見える関係を築けていないと、質の高いサービスを提供していくことは難しいと考えられます。特に、災害時には緊急に現場での対応を求められると同時に、地域住民の支援活動を行っていくことが求められます。そのため、緊急時に備え、日頃より災害に対応する訓練として、職員研修を開催しました。

10月8日(土)、県ボランティア・市民活動振興センター長の横尾氏に「災害ボランティアセンターの役割等について」講義を受け、その後、初動確認の演習を行いました。

10月23日(日)、東根小学校グラウンドで行われた町総合防災訓練に、白鷹町災害ボランティアセンターとして、初めて参加しました。ボランティア受付からボランティアと支援を必要とする世帯とのマッチング、そして、送り出しと繰り返し訓練を行いました。



初めての訓練で、なかなかスムーズな流れとはなりませんでしたが、今後、演習を重ね緊急時の備えに努めてまいります。

“ 放課後児童クラブ
「蚕桑っ子クラブ」活動紹介 ”



いか比べたり、楽しい収穫祭となりました。作業の後は、地元の方手づくりの芋煮と新米つや姫のおにぎりを、お腹いっぱいいただきました。自分たちで収穫した里芋の味は格別。「おいしい、おいしい」「やわらかいねー」と言いながら、美味しくいただきました。

10月24日(月)、蚕桑っ子クラブの農園で、たくさんの里芋とサツマイモの収穫ができました。これは、地元の農業の先生と1年間を通して様々な体験をしている活動の一つです。

この日は、6月に植えた苗が育ち、いよいよ収穫の時期を迎えました。土の中からゴロゴロと実をつけている里芋に傷がつかないように取り分けたり、大きな里芋がでるとお互いにどちらが大き

ボランティア情報発信

ボランティアに関わる保険の紹介

このたび、ボランティア活動保険の保険金額及び保険料が改定されました。内容を改めてご確認いただきお申込みくださるようお願い申し上げます。改定の理由は、傷害事故保険金の支払い増加が続いたことにより、損害率(収入保険料に対する支払保険金の割合)が悪化したため、止むを得ず保険料を改定することになったものです。

①ボランティア活動保険 ※被災地におもむく際には、必ずボランティア保険にご加入ください。

特 徴:	ボランティアの活動のための往復途上の事故を補償		
保 険 料:	基本タイプ	改定前	Aプラン 300円 → 改定後 350円
			Bプラン 450円 → 510円
	天災タイプ	改定前	Aプラン 430円 → 改定後 500円
			Bプラン 650円 → 710円

②ボランティア行事用保険

特 徴:参加者のケガや主催者側の損害賠償責任を補償
補償期間:1日

③ふれあいサロン傷害補償

特 徴:サロン活動において、自宅から活動場所までの往復途上の補償、弁当が配布され食中毒で通院、外出中の事故の補償

※ボランティア保険は、他人や社会に貢献する無償の活動であることが対象となります。加入手続きは随時行っています。

◎ただいま、平成29年度加入手続きを行っています。

※個人、グループ等がボランティア活動中におこる様々な事故へのケガや賠償責任を保障します。掛金等の詳細については白鷹町ボランティアセンターにお問合せください。☎86-0150

小学校福祉教育・ボランティア活動報告

理想の福祉を考える

白鷹町立蚕桑小学校 第六学年

一 はじめに

蚕桑小学校では、毎年六年生が「総合的な学習の時間」の一環として、福祉教育を行っています。

今年度は、パネルディスカッションを通して福祉についての理解を深め、介護福祉士の方を講師にお招きして車椅子体験を行い、さらに「はっぴーデイサービスセンター」を利用している方との交流会を二回実施しました。

二 今年度の取り組み

(1) パネルディスカッション

「理想の福祉」をテーマに、調べ学習に取り組んで自分の考えをもち、討論会を行いました。

【児童の感想より】
 パネラーの人が発言したように、今の福祉で満足ではなく、まだ改善できることがたくさんあると思いました。触れ合ったり、サポートしたりして、福祉の輪を広げたいと思いました。



(2) 車椅子体験

施設を利用する方と交流する前に、車椅子の操作方法を教わりました。相手の立場に立つ大切さをまなびました。



【児童の感想より】

マットを置いて、その上で車いすを押してみると、重く感じておしづらかったです。職員の方は、雨のときには車いすごと持ち上げて、家がよごれないように気づかっているとおっしゃいました。気配りができてすごいと思いました。

(3) ハッピー交流会

一回目は施設を利用する方を学校にご招待して、学校案内や昔遊び、風船バレーなどを行いました。二回目は施設を訪問し、設備を見学したり、歌や演奏を披露して交流を深めたりしました。

高齢者の方に人気があると聞いていた「シッティング風船バレー」は、ルールが工夫されたスポーツで、誰でも楽しむことができます。車椅子を利用する方も参加できるため、みんなで運動する楽しさを味わいました。



【児童の感想より】

学校案内をしたり、折り紙を教わったりしながら触れ合うことができました。「ありがとう」とたくさん言ってくださり、本当に喜んでいることが感じ取れてうれしかったです。

高齢者になると、体が不自由になって、一人ではできないことがたくさん出てきます。でも、いつか自分もそうなると思います。「かわいそうだから」などと思わないで、困っているときには手助けができたらと思います。そして、みんなが幸せに暮らせるように、温かい心で接していきたいです。



三 おわりに

討論会やお年寄りの方との交流を通して、誰もが幸せに暮らすことができる社会を考え、共に生きることの大切さに気付くことができました。

これからも思いやりの心を持ち、自分で行けることを進んで行っていく態度を育てていきたいと思っています。

町社会福祉協議会は、町民皆さまからいただいた会費の一部を、中学校と荒砥高等学校のボランティアを基に取り組んでいます。

子ども達がボランティア活動や福祉教育を通じて、社会福祉についての理解と関心を深め、社会参



毎週火曜日と木曜日の二回、各家庭から出されるプルタブ、ペットボトル、空き缶を回収し、役立つ物にかえて、福祉施設等に寄贈しています。

今年度も各家庭からたくさん協力していただき、多くを集めることができました。年度末に贈呈式をする予定で、児童ははりきって集めていました。

「プルタブ、ペットボトルキャップ、空き缶回収」

荒砥小学校では、児童会のボランティア委員会を中心に、「だれかのために、自分たちでできること」をスローガンに、今年度ボランティア活動に取り組んできました。今回は、その活動の一端を紹介させていただきます。

小学校福祉教育活動報告

「だれかのために、自分たちでできること」

白鷹町立荒砥小学校

交流活動

「こども園、老人福祉施設訪問」

福祉施設「白光園」さんを訪問し、歌やお年寄りの方との交流をしました。肩もみをしたり、ゲームをしたり、車いすをひいたりしながら、お年寄りの方と会話し、楽しい時間を過ごすことができました。

また、愛真こども園では、来年度荒砥小学校に入学する児童に対して、学校での生活を紹介したり、クイズや劇を発表して、小学校生活に期待をふくらませることができました。



加湿器の贈呈

今年度回収した「プルタブ」と「空き缶」を加湿器に交換して、マイ・スカイ中山さんに寄贈しました。昨年度までは、白鷹中学校さんと合同で車いすに交換して贈呈していましたが、今年度からは荒砥小単独で贈ることになりました。施設で暮らすお年寄りの方が、健康で生活できるようにと、心をこめて贈りました。

また、ペットボトルキャップは、山形銀行さんを通じて、病気で苦しむ世界のこどもたちのために役立ててもらえるように、という思いをこめて贈りました。



介護職員初任者研修

介護職員として働くために、講義、演習、実習を通じて必要な知識と技術を学びます。(合計130時間)

全課程終了後、筆記試験と実技試験を行ないます。

▼期 間 平成29年5月2日(火)～10月27日(金)

▼募集定員 一般5名程度

(白鷹町に在住または通学、通勤している方)

▼受講料 20,000円 (※テキスト代別6,069円)

▼会場 白鷹町健康福祉センター(主会場)

▼申込方法 申込用紙に必要事項を記入の上、社会福祉協議会事務局に提出ください。
詳しくは、ホームページを参照ください。

▼申込期間 3月22日(水)～3月31日(金)まで

不明な点については事務局にお問い合わせ下さい。 ☎86-0150



車いすの使い方を学んでいます。



福祉サービス利用援助事業 ☎86-0150

認知症高齢者や知的障がい、精神障がいのある方などで、福祉サービスを利用したいけど手続きが分からない方、お金の管理や引き出しが出来ないなど、日常生活に不安がある方へのお手伝いをしています。

【支援内容】○福祉サービス利用のお手伝い ○日常的な金銭の出し入れのお手伝い
○大切な書類等の預り

※詳しい内容をお知りになりたい方、ご相談は事務局までお問い合わせください。

生活福祉資金貸付制度のご案内

この貸付制度は、他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、民生委員や市町村社会福祉協議会が窓口となって、生活支援を基に無利子または低利子で資金の貸付を行うものです。

【資金の種類】

総合支援資金 …失業などにより世帯の生活の維持ができなくなった など
福祉資金 福祉費 …日常生活を送る上で、一時的に必要であると見込まれる費用など
福祉資金 緊急小口資金 …緊急に一時的に生計の維持が困難となった など
教育支援資金 …高校・短大・退学・専門学校の就学費用

※総合支援資金と福祉資金緊急小口資金は、ご利用にあたって自立相談支援機関の支援を受けていただくことが必要となります。詳しいことは、事務局までお問い合わせください。

西置賜地域生活自立支援センターのご案内 ☎86-0150

仕事のこと、家計のこと、将来のこと、生活のことで困っていること、悩んでいること、不安なことは、一人で悩まず、まずお電話ください。

○あなたの実情に合わせた解決方法を一緒に考えます。

困っていることなどのお話を聴いて、問題を整理し、あなたの事情に合った解決方法を一緒に考えます。

○問題解決に向けた具体的な支援プランをあなたに合わせてつくります。

生活が少しでも楽になるように、自立に向けた具体的な支援プランを一緒につくります。

相談窓口

場 所 白鷹町健康福祉センター内

相談日 月曜日～金曜日(土日祝日を除く)

受付時間 午前8時30分から午後5時15分

相談方法 事前予約をお願いします。